

開催要綱

お
好いとっちゃん



介護の仕事

持ちよう
援助実践

たしかめよう
自信と誇り

とり戻そう
公的福祉を



21・老福連 第9回職員研究交流集会 ぶくおか

● 日時

2009年12月5日(土)~7日(月)

1日参加からOK

● 会場

全体会・分科会 福岡大学
交流会 KKRホテル博多

● 参加費

3日間参加 10,000円 2日間8,000円 1日間6,000円
※12月7日開催の「市民講座」: 市民・学生は参加費無料

● 主催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称=21・老福連)

TEL 075-494-1115 FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp

主催：21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会（略称＝21・老福連）

後援：福岡県、福岡市、福岡県老人福祉施設協議会、福岡県社会福祉協議会、福岡市社会福祉協議会、読売新聞西部本社、西日本リビング新聞社、毎日新聞社、西日本新聞社、FBS福岡放送、RKB毎日放送、九州朝日放送、TVQ九州放送（以下、すべて依頼中）福岡市老人福祉施設協議会、社団法人福岡社会福祉士会、社団法人福岡介護福祉士会、社団法人福岡介護支援専門員協会



「21・老福連」参加施設のみなさん
全国の老人福祉施設関係者のみなさん

「21・老福連」参加施設のみなさん・全国の老人福祉施設関係者のみなさん

わたしたち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」（略称 21・老福連）は老人福祉の新しい施設連絡会組織として2002年6月に発足致しました。発足にあたって、申し合わせ事項として

- ①介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立をめざすとともに、真の高齢者福祉、介護保障のあり方について実践も含めた意見交換を活発に行う。
 - ②高齢者主体の援助実践・ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する。
 - ③老人福祉の向上をめざす活動・社会保障を守る活動などを諸団体と協同・連帯し積極的に進める。
- これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

この間の各施設団体・職員の訴えがみのり2009年には3%の介護報酬プラス改定を実現することができました。しかし、前回までの2回にわたる介護報酬の切り下げ5.7%は回復されず、今回改定が赤字の穴埋めにしかならない、介護職員の待遇改善まで回らないと言う施設も多く、公的福祉の確立めざし更なる運動の継続が必要です。

群馬「たまゆら」の火災に胸を痛め、こうした事件が起こらないと公的施設の不足が取り上げられない、福祉に携わる職員の努力にのみ支えられる福祉の仕組みを変えないと、本当に「福祉が人を殺してしまう」時がやってくると思います。

世界同時不況により、介護が安定した仕事として再度注目されていますが、簡単にできる仕事でないことは職員自身が一番良く知っています。厚労省の諮問機関の委員さえ、「介護職に専門性はない」と言い切るこの国の福祉行政の中で、介護業務の専門性の確立は介護職員自身が行っていかなくてはなりません。その意味でも、継続されてきた、21・老福連の「職員研究交流集会」の意義は大きいものがあります。今年もぜひ、多くの介護実践を持ち寄り、福岡集会を成功させましょう。職員・関係者の皆様の参加をお待ちしています。

● 日 時

2009年 12月5日(土) 13:00~17:00 (交流会19:00~)
12月6日(日) 9:30~17:00
12月7日(月) 9:00~12:00

● 会 場

全体会・分科会
交流会
福岡大学
KKRホテル博多

● 参加費

3日間参加 10,000円 2日間 8,000円 1日間 6,000円
※12月7日開催の「市民講座」: 市民・学生は**参加費無料**
宿 泊 7,485円~(シングル・朝食つき)
※ランクに応じてご用意しております。先着順のためお早めにお申し込みください
交流会 8,500円 (恒例です!「早いもん勝ち」で全国の地酒が飲み放題)

● 主 催

21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会 (略称=21・老福連)
TEL 075-494-1115 FAX 075-494-1135 E-mail roufuku@siren.ocn.ne.jp

◆ お問い合わせ先 ◆ <現地実行委員会事務局>

社会福祉法人 ちどり福祉会 特別養護老人ホーム いきいき八田 (担当: 和田峯)
TEL 092-691-5089 FAX 092-691-5254 E-mail ikiiki.8ta@gol.com

● 申込方法

別ページに、トップツアーからのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにてトップツアーにお申し込みください。

◆ 参加申し込み締め切りは9月19日(土)です ◆

- ※集会2日目の分科会における「演題発表」の受付は老福連事務局となります。
- お間違えないよう、別ページ「演題募集用紙」をご確認ください。
- ※開催の約1ヶ月前には、トップツアーより請求書とともに参加券が発送されます。



集会のテーマ

好いとっちゃん、介護の仕事

～ 持ちよう援助実践 たしかめよう自信と誇り とり戻そう公的福祉を～



目的

今集会は宅老所の原点となった「よりあい」の下村代表の講演からクロストークでの交流まで、「認知症での実践」を深め、学ぶチャンスです。最終日の山田達夫先生の「物忘れ外来と地域のサポート」は福岡大学の「市民講座」として無料公開の予定です。

福祉の仕事は**ヒト**が相手の仕事です。**モノ**でなく**ヒト**なのだという認識は、入所者・利用者にも、働く介護職員すべてに言えることです。そして働きかけにより変化すること、その経過に喜びを見いだすことも**ヒト**でこそです。私たちは、「好いとっちゃん、介護の仕事」というテーマに福祉の仕事の創造性と介護を担う職員の生命力への期待の意味を込めました。いろいろあるけど「**好いとっちゃん介護の仕事**」を夜を徹して語り合しましょう。



プログラム

1日目

12月5日(土)

< 全体会 >

福岡大学 8号館 831教室

12:30～	受付開始
13:00～13:15	歓迎セレモニー「ようきんしゃった！」 戸畑祇園山笠、お囃子披露
13:15～13:30	開会の挨拶・来賓からの挨拶
13:30～14:00	21・老福連からの基調報告
14:00～15:00	●特別講演Ⅰ「好いとっちゃん！この仕事」 講師 下村 恵美子 氏（福岡ひかり福祉会 宅老所よりあい 代表）
15:15～17:05	●クロストーク「認知症を地域から・施設から考える」 司会 みさき病院 田中医師 演者 <input type="checkbox"/> 自治体と連携した地域づくりの現場から <input type="checkbox"/> デイサービスの認知症ケアの実践現場から <input type="checkbox"/> 施設の認知症ケアの実践現場から <input type="checkbox"/> 家族の会から
17:05～17:15	事務連絡・1日目終了

< 交流会 >

ホテルKKR博多

19:00～21:00	毎年恒例となった交流会！現地の職員さんが手づくり企画でみなさんを歓迎します！！ 今年の担当は、「老福連の集会にも交流会に参加したことがない！」という九州は熊本チームによる、おたのしみ企画。これまでとは一味違った宴で、みなさんで大いに盛り上げてください！ もちろん、全国の参加者から持ち寄られた「地酒」にも乞うご期待！
-------------	--

2日目

12月6日(日)

< 分科会 >

福岡大学 A棟 6階・7階

9:30～17:00	11分科会、19会場(予定)で繰り広げられるアツい議論！（詳細は次々ページより）
------------	--

3日目

12月7日(月)

< 全体会 >

福岡大学 8号館 831教室

9:00～	3日目開始
9:00～10:00	●特別講演Ⅱ「ものわずれ外来と地域でのサポート」 講師 山田 達夫 氏（福岡大学医学部 神経内科学教室 教授）
10:00～10:45	●介護現場からのメッセージ・トーク 現場職員が語る「好いとっちゃんトーク」
10:45～11:45	●特別講演Ⅲ「介護にたずさわる方への応援歌」 講師 林田 スマ 氏（大野城まどかぴあ男女平等推進センター 所長）
11:45～11:55	今回の集会のまとめ 実行委員長あいさつ
11:55～12:00	次回開催地よりあいさつ 終了



一日目全体会 ～ 12月5日 ～



特別講演 I 好いとっちゃん、この仕事が！

～ 地域で老いを支えるために ～ 宅老所よりあいでの実践

講師 下村 恵美子 氏 (宅老所よりあい 代表)

講師プロフィール：1952年生まれ。「宅老所よりあい」代表。社会福祉士、介護支援専門員。高校卒業後8年間金融機関で働く。祖母のぼけの世界とつき合っ、30歳の時に「人間相手の仕事がしたい」と福祉大学に入学。卒業後デイサービス、特別養護老人ホームで職員として働き、1991年11月より宅老所に取り組む。



クロストーク 認知症を地域から・施設から考える

●クロストーク「認知症を地域から・施設から考える」

司会 みさき病院 田中医師

- 自治体と連携した地域づくりの現場から 福岡県 大牟田市の実践
- デイサービスの認知症ケアの実践現場から 長崎県 認知症対応型デイサービス「きらり」
- 施設の認知症ケアの実践現場から 福岡県 特別養護老人ホーム
- 家族の会から 老いをささえる北九州家族の会



三日目全体会 ～ 12月7日 ～



特別講演 II もの忘れ外来と地域でのサポート

講師 山田 達夫 氏 (福岡大学医学部 教授)

講師プロフィール：1948年4月9日生まれ。東京医科歯科大学医学部卒業後、仏国ブザンソン大学、カナダブリティッシュコロンビア大学、キンズメン研究所留学後、各大学神経内科、神経内科学講師及び教授を歴任し、現在福岡大学医学部第5内科教授として活躍中。山田達夫教授(医学部神経内科)講演



特別講演 III 介護にたずさわる方への応援歌

講師 林田 スマ 氏 (大野城まどかびあ男女
平等推進センター所長)

講師プロフィール：元RKB毎日放送アナウンサー。結婚のためRKBを退社後、9年間の専業主婦を経てフリーアナウンサーの仕事に復帰。現在もテレビやラジオ番組を中心に企業やPTAの講演などを行う。96年、大野城まどかびあ女性センター所長就任。筑紫女学園大学非常勤講師も務める。